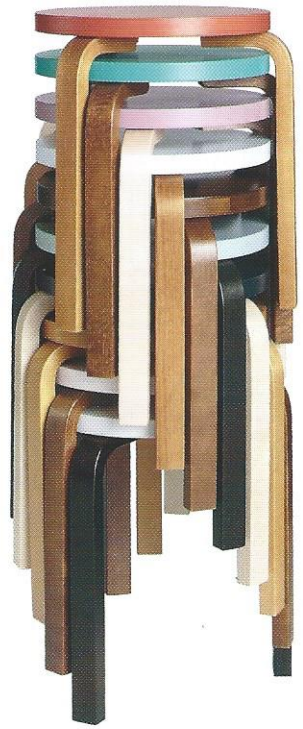


フィンランド独立100周年記念

フィンランド・デザイン展

「森と湖の国」フィンランドの人々は、夏は白夜、冬は極寒という厳しい自然と共に生き、その中から楽しみを見だしつつ日々の暮らしを送ってきました。フィンランドのデザイナーたちも、「自然と人間との調和」を大切に、日常で使われ、今も世界中で愛され続けている、シンプルであたたかい作品を生み出してきました。本展では、2017年がフィンランド独立100周年となるのを記念し、独立以前から現在までの100年に及ぶフィンランド・デザインの歩みを紹介します。巨匠アルヴァ・アアルトやカイ・フランクをはじめとする著名デザイナーたちが生み出した、家具・食器・テキスタイルなど約700点を通じて、フィンランドの人と自然が育んだ豊かなライフスタイルをお楽しみください。



Heikki Orvola

キャンドルホルダー(Kivi)
ヘイッキ・オルボラ
1988年
イッタラ
© Iittala



Kaj Franck

テーブルウェア(Kilitaシリーズ)
カイ・フランク
1953年
アラビア
フィンランド・デザイン・ミュージアム蔵
© Designmuseo



カイ・フランク (1911-1989)

『美しさの究極的な意味は必要な、機能的な、有用なものの中にある。日常のニーズに対応して作られるものに、デザイナー名は不要である。』

代表作はイッタラの「ティーマ」や「カルティオ」などの食器シリーズ。「フィンランド・デザインの良心」と賞賛される彼は、「誰にでも使いやすく、どんな家にもなじみ、収納しやすいデザイン」を追求し、機能的で美しい作品を多く生み出した。

Heini Riitahuhta

陶製レリーフ(Flower of cold)
ヘイニ・リータフタ
2015年
作家蔵
© Heini Riitahuhta
Photo: Chikako Harada



Harri Koskinen

ダイニングチェア
ハハリ・コスキネン
2015年
個人蔵
© Harri Koskinen
Photo: Chikako Harada



Maija Isola

生地(ウニコ)
マイヤ・イソラ
1964年
マリメッコ社
個人蔵
© Marimekko Corporation



Finnish Design